

ALBIREX NIIGATA

Corporate Profile

ALBIREX NIIGATA INC.

2-1-10 MISAKI-CHO, CHUO-KU, NIIGATA-CITY, NIIGATA 950-0954, JAPAN

TEL025-282-0011 FAX025-282-0013

URL <http://www.albirex.co.jp/> MOBILE <http://www.albirex-m.jp>





百年構想



スポーツが生活の一部となる、“スポーツ文化”の確立を目指します。

Jリーガーを目指してボールを追う子供たちをはじめ、年齢や目的に応じて誰もがスポーツを楽しんでいる。その隣で家族、友人が集まり、喉を潤しながら会話を楽しむ。Jリーグは、

こんなスポーツライフが日常の一部となった光景を目指しています。そして、アルビレックス新潟は実現に向け、地域に根差したスポーツクラブ作りへ、歩みを始めています。

Jリーグ理念

- 日本サッカーの水準向上およびサッカーの普及促進
- 豊かなスポーツ文化の振興および国民の心身の健全な発達への寄与
- 国際社会における交流および親善への貢献



Jリーグ活動方針



1. フェアで魅力的な試合を行うことで、地域の人々に夢と楽しみを提供します。
2. 自治体、ファン、サポーターの理解・協力を仰ぎながら、世界に誇れる、安全で快適なスタジアム環境を確立していきます。
3. 地域の人々に、Jクラブをより身近に感じていただくため、クラブ施設を開放したり、選手や指導者が地域の人々と交流を深める場や機会をつくっていきます。
4. フットサルを、家族や地域で気軽に楽しめるようなシステムを構築しながら普及していきます。
5. サッカーだけでなく、他のスポーツにも気軽に参加できるような機会を多くつくっていきます。
6. 障害を持つ人も一緒に楽しめるスポーツのシステムをつくっていきます。

Jリーグの成果

Jリーグでは、理念の具現化に向かって様々な活動を行ってきました。その大きな成果としては、大成功に終わった「2002年FIFAワールドカップ 韓国/日本大会」の開催と日本代表チームの活躍、「世界最大のサッカートレーニング施設ヴィレッジの誕生」、「スポーツ振興くじ『toto』の実施」という形で現

れました。また、全国の自治体の協力もあり、各地の競技施設も年々充実し、地元の方々が緑の芝生の上でスポーツを楽しむような環境が整いつつあります。Jリーグは誰もが気軽にスポーツを楽しめる総合スポーツクラブ作り、つまりは豊かなスポーツ文化の振興の推進役でありたいと願っています。



Jリーグとアルビレックス新潟が積み上げてきたもの

百年構想の実現へ、 これだけの成果が上がっています。

アルビレックス新潟クラブコンセプト

- 未来ある子どもたちに
『夢を与えられる人づくり』に貢献します。
- 地域の人々と共に
『活気あふれるまちづくり』に貢献します。
- 地域と世界を結ぶ
『豊かなスポーツ文化の創造』に貢献します。



アルビレックスの成果

総合スポーツクラブの旗手として注目されるアルビレックス新潟

アルビレックス新潟は、Jリーグの理念を基に、独自のスポーツクラブづくりをゼロから進めてきました。1999年からJリーグに参戦しているトップチームはもちろんのこと、日本女子サッカーリーグに所属する「アルビレックス新潟レディース」、日本初のプロバスケットボールクラブ「新潟アルビレックスBB」、プロチアリーダース「アルビレックスチアリーダース」、

「チームアルビレックス新潟」、「新潟アルビレックスランニングクラブ」、「新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」、「新潟アルビレックスBBラビッツ」、「新潟アルビレックスレーシングチーム」、などの存在により、新潟では年間を通じて、スポーツ観戦を楽しむことができます。

また、ユース、ジュニアユースといったサッカー下部組織の充実に加え、県内に12校のサッカースクールを展開し(17年12月現在)、幼児から成年まで幅広い競技レベルと年齢にあわせた指導を行っています。さらに、フットサルコートなどクラブの所有する施設を一般に開放して、新潟に性別や年齢を問わずスポーツを楽しめる環境を整えてきています。

03年にアルビレックス新潟をJ2優勝、J1昇格へと押し上げた大サポーターの力は社会現象ともいわれ、各方面からの注目を集めました。また、クラブを物心両面で支援することを目的として設立された、アルビレックス新潟後援会は県下40地区に細分化されたネットワークを生かして支援者を募る一方で、東京、大阪といった大都市や新潟県周辺へとその活動地域を広げています。そして、ホームゲーム運営には、ボランティアの皆さんや、県内の高校生、専門学校生などが参加して、クラブとともに大観衆の詰めかけるスタジアムを支えていただいています。

こうした活動を通じて、アルビレックス新潟は日本を代表するクラブとして成長することを目指すと同時に、新潟の方々には欧州などでは日常化している『スポーツをする楽しみ、観る楽しみ、支える楽しみ』を提供していきます。

- トップチーム [Jリーグ]
- レディース [なでしこリーグ]
- 新潟アルビレックスBB [バスケットボール]
- 新潟アルビレックスBBラビッツ [女子バスケットボール]
- アルビレックスチアリーダース
- チームアルビレックス新潟
- 新潟アルビレックスランニングクラブ
- 新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ
- 新潟アルビレックスレーシングチーム
- オールアルビレックス・スポーツクラブ



- ユース・ジュニアユース
- ホームゲーム前座試合
- サッカースクール事業
- サッカー普及事業
- フットサルコートの開放
- アルビレックス新潟後援会
- スポンサーによるタイアップ商品の販売
- ボランティアによるホームゲーム運営補助

新潟アルビレックスBB



©新潟アルビレックスBB

新潟アルビレックスBBラビッツ



©NIGATA ALBIREX BB RABBITS/WJBL

アルビレックスチアリーダース



©アルビレックスチアリーダース

チームアルビレックス新潟



©チームアルビレックス新潟

新潟アルビレックスランニングクラブ



©新潟アルビレックスランニングクラブ

新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ



©新潟アルビレックスBC

新潟アルビレックスレーシングチーム



オールアルビレックス・スポーツクラブ



美しく飛翔する白鳥王、アルビレックス新潟

クラブ名「アルビレックス新潟」の由来

白鳥座の中でひとときわ輝くオレンジとブルーの二重星が「アルビレオ」。新潟には白鳥が多く飛来します。この白鳥をキーキャラクターに、オレンジには新潟の美しい夕日、ブルーが日本海の美しさが、それぞれ連想できるという3つの理由から、前身となる「アルビレオ新潟」が命名されました。その後、Jリーグ会員の条件のひとつである「チーム名称条件」をクリ

アするためにチーム名称を変更することに決定。県民投票に委ねられた結果、アルビレオがさらにパワーアップし、サッカー界の王者に向かって羽ばたいて欲しいという願いを込めて「アルビレ(アルビレオ)+レックス(ラテン語で“王”)」＝「アルビレックス新潟」となりました。

エンブレムマーク



ロゴマーク



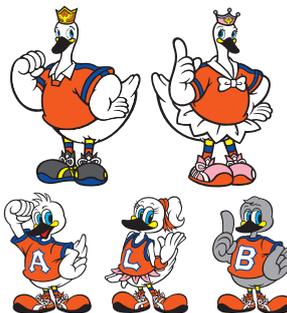
クラブフラッグ



キャンペーンマーク



クラブマスコット (アルビくん、スワンちゃん、アーくん、ルーちゃん、ビィくん)



ホームスタジアム紹介



デンカビッグスワンスタジアム

会場名：デンカビッグスワンスタジアム 収容人員：42,300人
所在地：新潟市中央区清五郎67番地12

2002FIFAワールドカップTMで名勝負の舞台となったビッグスワンは、今やアルビレックスサポーターの「聖地」。鳥屋野潟に横たわる優雅な外観は、新潟の名所としても親しまれています。



デンカビッグスワンスタジアム外観



新潟市陸上競技場

会場名：新潟市陸上競技場 収容人数：18,671人
所在地：新潟市中央区一番堀通町3-1

地域リーグ時代から、アルビレックス新潟とともに歩んできた歴史あるスタジアム。多くの感動や名勝負を演出したスタジアムです。

クラブハウス紹介



アルビレックス新潟クラブハウス・練習グラウンド

所在地：北蒲原郡聖籠町東港5-914-2

2003年に竣工したアルビレックス新潟の拠点。充実した設備に加え、隣接するクラブハウスレストラン「オレンジカフェ」では、選手たちに栄養面をコントロールした食事が提供されています。また、トップチームのみならず、ユース、レディースチーム用の設備が整えられており、今後さら

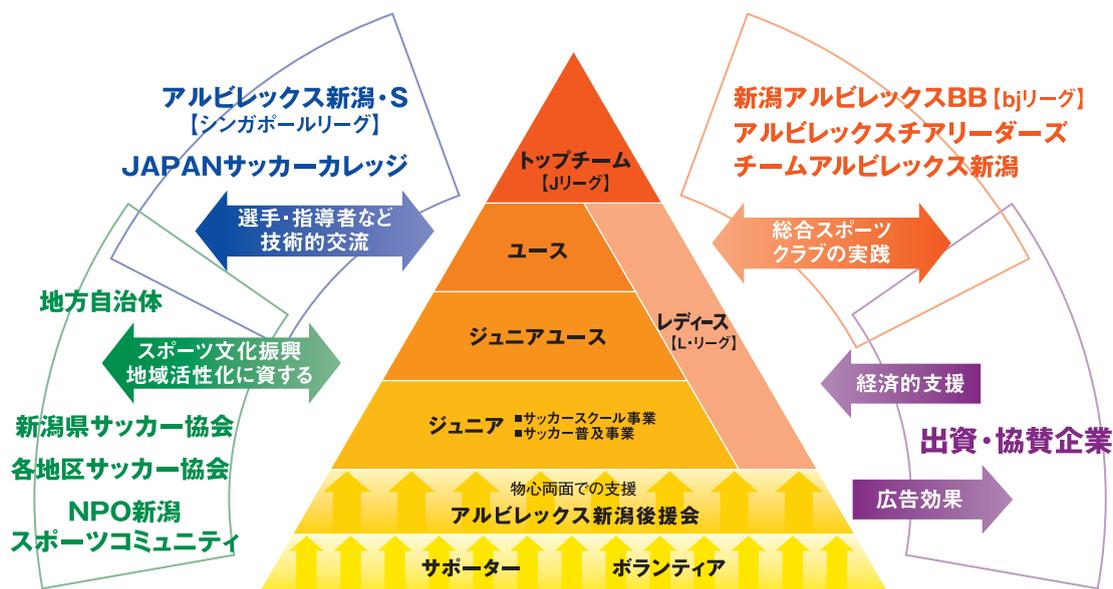
に活動の幅を広げていく上でも中心的な存在となります。竣工に際して、聖籠町にもホームタウンに加わっていただき、名実ともにクラブの活動拠点としての役割を担っています。



アルビレックス新潟はサポーターに支えられ、ともに歩むクラブです

地域に根ざした存在へ

クラブ・地域とのリレーション図



2005年のアルビレックス新潟の年間入場者数は、681,945人。これは、Jリーグの年間入場者数の新記録（2005年当時）となり、一種の社会現象として各方面でも大きく取り上げられました。近年のトップチームの躍進はもとより、クラブ設立以来、「サポーターあつてのクラブ」という志を掲げて活動をしてきた賜物であるといえます。

「Join賞」盾

サポーターや地域と一体となったクラブの活動は、新潟県、Jリーグからも高く評価され、2003年には、新潟県知事より知事表彰、2003年、2004年は2年連続でJリーグより「Join賞」（チェアマン特別賞）を受賞しています。これらは、毎試合スタンドを埋めるサポーターなしには、受賞し得なかったものであり、アルビレックス新潟の歴史はサポーターによって築かれているといっても過言ではありません。

経済効果

また、アルビレックス新潟は、地域への経済効果の面でも大きな貢献を果たしています。J1リーグ昇格を成し遂げ、盛り上がりを見せた2003年の経済効果は直接需要、間接需要をあわせて31億4700万円（新潟県統計課/J1昇格記念セール等の経済効果を含まず）とされ、地域経済に大きな影響を与えることになりました。



J1リーグ昇格・J2リーグ優勝パレード

国際交流

2004年には、シンガポールリーグで兄弟チーム「アルビレックス新潟・S」が活動を開始、同年夏にはアルゼンチンからボカ・ジュニアーズ、スペインからバレンシアCFを招き、国際試合を開催しました。海外クラブとは、その後も大連実徳（2005年、中国）、セビリアFC（2006年、スペイン）を招へいして試合を開催しており、アルビレックスを介して“新潟”を世界中へ発信する役割を果たしています。



ワールドチャレンジマッチ2004
バレンシアCF（スペイン）戦

これからも、アルビレックス新潟はスタジアムを埋め尽くす多くのサポーターとともに、“世界に誇れる新潟づくり”を目指して歩みつづけます。

サポーターとともに作り上げる、魅力あふれるホームゲーム

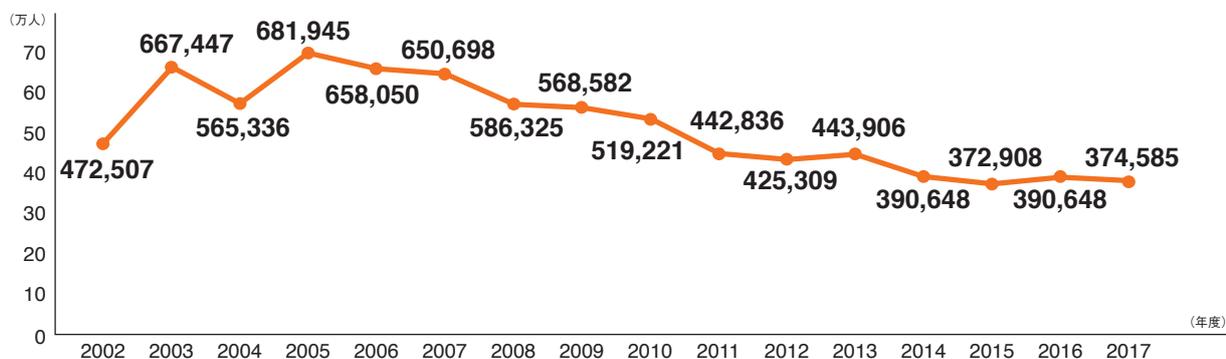
新潟県民に応援する喜びを

アルビレックス新潟は2003年、Jリーグの年間入場者数の記録を8年ぶりに更新しました。この年の1試合あたりの平均入場者数は30,339人でJ1リーグ、J2リーグの平均入場者数を大きく上回るものとなりました。新潟スタジアム(ビッグスワン)の完成や2002FIFAワールドカップ™の開催を起爆剤にサッカーの魅力を伝えてきた活動もさる事ながら、新潟の人々に地元のクラブ「おらが町のチーム」を応援する喜びが浸透してきていることを示しています。

満員のスタンドで声をあわせて、チームの歌を響かせ、一斉に郷土新潟を「愛している」と叫ぶとき、場内は他では味わえな

い感動と興奮につつまれます。そんなサポーターでいっぱいスタンドは、プレーする選手達にも好影響を及ぼしています。フィールドでは、アグレッシブで観客を魅了するゲームが行われ、勝っても負けても「また観に来よう」と思わせるスペクタクルな試合がホームゲームのたびに繰り広げられているのです。アルビレックス新潟のホームゲームは、サポーター、選手、クラブが共鳴しあい生み出す一大エンターテインメントであり、サポーターはクラブや選手から提供されるだけでなく、自らホームゲームに参加することで、喜びを見出しています。

年間観客入場者数の推移グラフ



安全で安心なスタジアムへ



42,300人を収容する新潟スタジアムを満員にするアルビレックス新潟のホームゲームは、安全性や清潔感といった部分においても様々な配慮がなされています。アルビレックス新潟では環境問題にも積極的に取り組み「クリーン&セーフティ宣言」を展開しています。来場者にきれいで安心・安全なスタジアムづくりを呼びかけるとともに、リユースカップの導入などによるスタジアムで出るゴミの減量化にも着手し、関係団体の協力を得ながら、常によりよいホームゲーム運営を目指して改善を行っています。

また、来場者に試合終了後の清掃への協力を呼びかける「クリーンサポーター」は多数の参加者を集め、03年には新潟スタジアムで開催された日本代表の試合においても採用された実績を持っています。また、多数の来場者を迎え

る上で、必要不可欠な力となっているのが、ボランティアスタッフの存在です。新潟では、2002FIFAワールドカップ™新潟開催をきっかけに、ボランティア活動が顕在化しましたが、その経験が無駄にすることなく、アルビレックス新潟のホームゲーム運営に力を貸していただいています。さらに、地元新潟のサッカー専門学校「JAPANサッカーカレッジ」の生徒、県内全域の高校生にもボールパーソンなどの競技補助役員として試合運営に協力をいただいています。いたるところで、新潟県民、サポーターが参加し、ともに作り上げていくアルビレックス新潟のホームゲーム。そこに携わる人たちとともに、アルビレックス新潟は“世界一のスタジアム”を目指して努力を続けています。

アルビレックス新潟は、地域スポーツの振興と、サッカーの普及促進を目指します

アルビレックス新潟サッカー普及事業

1 サッカーの普及を通じて、地域のスポーツ文化に貢献する。

2 地域の子どもたちにサッカーの楽しさを教え、心身の健全な育成とスポーツへの正しい理解を深める。

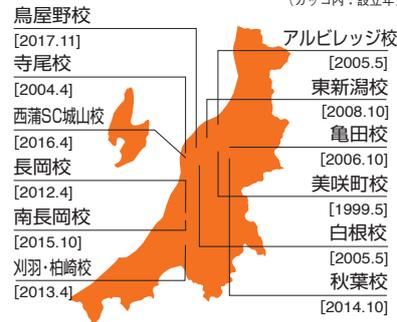
3 夢を持つ優秀な選手を育て、ユースチーム、トップチームへの扉を開き、将来の日本を支える選手の育成を目指す。

アルビレックス新潟サッカースクール

アルビレックス新潟サッカースクールは、99年の設立以来、より多くの子どもたちにサッカーの楽しさを味わっていただきたいという願いとともに、サッカーを基本から一貫指導、育成する場を提供する活動を行ってきました。現在は新潟市だけでなく、長岡市や刈羽・柏崎地域にもサッカースクールが開校されており(12校、約1,000人の生徒)、より広い地域へと指導

アルビレックス新潟サッカースクール所在地

(カッコ内：設立年月)



のネットワークが広がっています。また、アルビレックス新潟サッカースクールではサッカー技術だけでなく、子どもたちの成長や発育促進に力を尽くしています。特にスクール生や一般の方からも参加者を募集する「サマーキャンプ」では、サッカーの授業に加え共同生活の場で協調性を身につけることも重視して取り組んでおり、毎年多くの方からご好評をいただいております。



スクールには幼児から成年までのクラスが設けられており、年齢ごとに専門のコーチが技術レベルにあった指導を行っています。技術レベルの向上のみを活動の目的とせず、特別クラスとして中学生や成年、女子限定としたスクールを開催することにより、年齢・性別を問わずスポーツを楽しめる環境を作り上げています。



アルビレックス新潟のサッカー普及活動

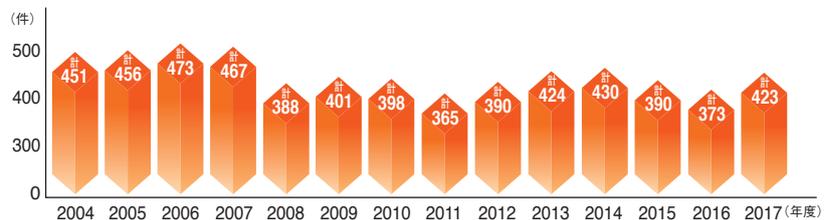
アルビレックス新潟はクラブ創設当初より、地域のサッカー・スポーツ人口の底辺拡大はもとより、地域の活性化に向けた健康増進活動にも積極的に取り組んでおり、新潟県、新潟市、聖籠町、新潟日报社をはじめとする各種団体・企業と協力をしながら、新潟県内を中心

に約年間400回のサッカー教室や運動教室、健康教室を実施しています。新潟市内を中心に年間約200園の幼稚園・保育園を訪問しサッカー教室を行うキッズ巡回指導をはじめ、普段あまり体を動かすことの少ないシニア層向けの健康教室、さらには本格的にサッカー技

術を磨くクラブチームへの指導者派遣事業などを通じて、サッカー技術の向上はもちろん、なによりもサッカーをすること、スポーツをすること、体を動かすことの楽しさを多くの方に知っていただくことに努めています。

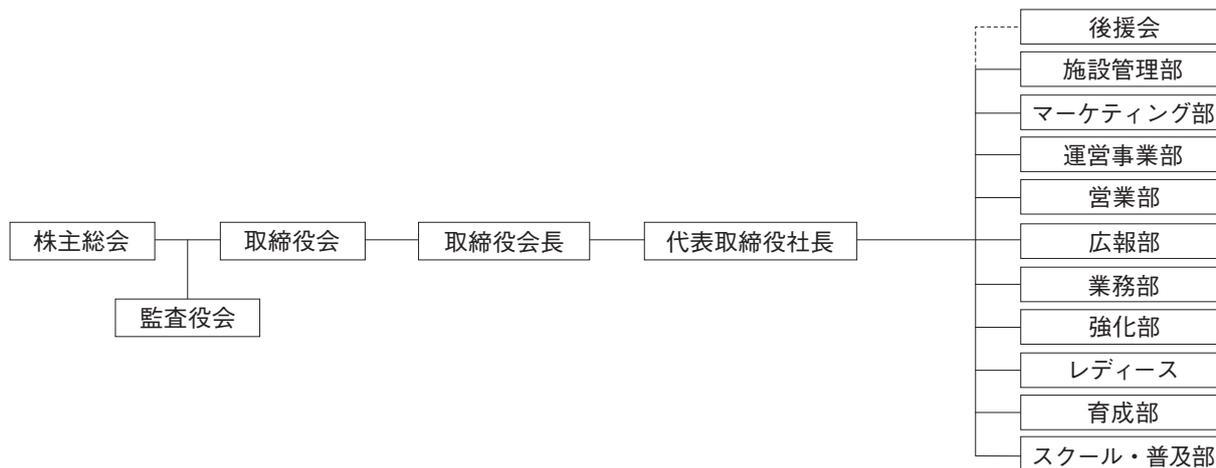


アルビレックス新潟 年度別普及活動実績



会社名	株式会社アルビレックス新潟
本社所在地	〒950-0954 新潟市中央区美咲町2-1-10 TEL.025-282-0011 FAX.025-282-0013
クラブハウス所在地	〒957-0101 新潟県北蒲原郡聖籠町東港5-914-2 TEL.025-257-5811 FAX.025-257-5812
資本金	7億1275万円(169企業・団体)
設立	1996年4月
従業員数	フロント・アカデミースタッフ72人、トップチームスタッフ16人、選手29人
ホームタウン	新潟市及び聖籠町
活動地域	新潟県全域
ホームスタジアム	デンカビッグスワンスタジアム(収容人数42,300人)、新潟市陸上競技場(収容人数18,671人)

組織



役員

●顧問

五十嵐 祐司	東邦産業(株) 代表取締役
植木 義明	(株)植木組 代表取締役社長
内田 力	(株)コロナ 代表取締役会長
市村 稿	(株)加賀田組 代表取締役社長
室川 治久	(株)テレビ新潟放送網 代表取締役会長
北村 芳明	(株)アーケベル 代表取締役
田中 通泰	亀田製菓(株) 代表取締役会長CEO
野崎 正平	一正蒲鉾(株) 相談役
水倉 直人	(株)水倉組 代表取締役社長
小田 等	丸運建設(株) 代表取締役社長
吉田 康	(株)ブルボン 代表取締役社長

●代表取締役

中野 幸夫 (株)アルビレックス新潟 代表取締役社長

●取締役

池田 弘	(株)アルビレックス新潟 取締役会長
若杉 爾	(株)アルビレックス新潟 取締役
神田 勝夫	(株)アルビレックス新潟 取締役
山本 英明	(株)アルビレックス新潟 取締役
小山 直久	Office Koyama オフィスコヤマ 代表
佐藤 哲也	新発田ガス(株) 代表取締役社長
清水 秀雄	(株)トップカルチャー 代表取締役社長
本間 達郎	(株)本間組 代表取締役社長
野沢 慎吾	セコム上信越(株) 代表取締役会長
渡邊 滋	(一社)新潟県サッカー協会 副会長
是永 大輔	Albirex Singapore PTE LTD 代表取締役社長 CEO

●監査役

十二 重樹	(一社)新潟県サッカー協会 顧問
廣田 幹人	新潟総合警備保障(株) 代表取締役社長
和田 晋弥	(株)和田商会 代表取締役社長



アルビレックス新潟 会社概要

企業沿革

- 1955年 新潟イレブンサッカークラブとして創部。天皇杯本大会、全国社会人大会と数々の全国大会に出場。
- 1982年 社会体育優良団体(優良スポーツクラブ)として文部大臣賞を受賞。
- 1986年 北信越サッカーリーグに昇格。
- 1994年 4月 新潟県サッカー協会の強化指定を受ける。元ヴェルディ川崎のフランス・ファン・バルコム氏をコーチとして招聘。チーム名をアルビレオ新潟FCと改名。
- 1996年 4月 チーム母体を法人組織として株式会社アルビレオ新潟を設立。プロサッカーチーム「アルビレオ新潟FC」として活動を開始。資本金を2億9500万円から4億9800万円に増資。地元を中心とした151企業・団体から出資を受ける。
- 1997年 4月 商標の問題からチーム名の変更を決定。
県民投票に委ねられ、チーム名を「アルビレックス新潟」と改名。
12月 日本サッカー協会及びJリーグより1999年からのJ2リーグ参加承認を得る。
- 1998年 2月 全国地域リーグ決勝大会を激戦の中勝ち抜き、JFL昇格を果たす。
永井良和監督就任
- 1999年 3月 資本金を5億6200万円に増資。(166企業・団体)
9月 クラブマスコットの発表。
12月 資本金を6億6000万円に増資。(171企業・団体)
- 2000年 3月 クラブマスコットのネーミング決定。「アルビくん」ホーム開幕戦でデビュー。
- 2001年 2月 反町康治監督就任。
11月 J2リーグ開幕。あと一歩というところで念願のJ1昇格を逃す。
- 2002年 4月 アルビレックスレディースの発足を発表。
7月 クラブマスコット「アルビくん」が「スワンちゃん」と結婚。
- 2003年 3月 Jリーグ参加後のホームゲーム入場者数が100万人を突破。
10月 資本金を7億1275万円に増資。(170企業・団体)
北蒲原郡聖籠町にクラブハウスが完成。
11月 聖籠町をホームタウンに追加する申請を行い、Jリーグの承認を受ける。
J2リーグ最終節でJ2優勝、J1昇格を決定。(27勝7分10敗)
12月 年間入場者数の新記録を達成。(667,477人)
Jリーグアウォーズにて「Join賞」(チェアマン特別賞)を受賞。
アルビレックス新潟レディースが04年からLリーグ2部に加盟することが決定。
- 2004年 7月 JOMOオールスターサッカー2004が新潟スタジアムで開催。
ワールドチャレンジマッチ ボカ・ジュニアーズ戦を開催。(2-1)
8月 ワールドチャレンジマッチ ハレンシアC.F戦を開催。(5-2)
10月 新潟県中越地震が発生。クラブ内に「がんばろう！新潟」新潟県中越地震復旧支援アルビレックス本部を設置。監督、スタッフ、選手が被災地域を訪問。
11月 J1リーグ戦の年間観客動員数の新記録を達成。(565,336人)
12月 新潟県中越地震復興支援チャリティーマッチがんばれ新潟！ジコジャパンドリームチーム戦が、新潟スタジアムで開催。(0-0)
Jリーグアウォーズにて、2年連続で「Join賞」(チェアマン特別賞)を受賞。
- 2005年 7月 新潟市合併記念国際親善マッチ 大連実徳戦を開催(2-2)
12月 反町康治監督退任。
- 2006年 1月 鈴木淳監督就任。
8月 ワールドチャレンジマッチ セリアFC戦を開催(0-6)。
11月 なでしこリーグ開幕。16勝3分2敗で2部優勝、1部昇格を決定。
- 2009年 12月 鈴木淳監督退任。
- 2010年 1月 黒崎久志監督就任。
6月 FIFAワールドカップ2010南アフリカ開幕。
矢野貴章選手が日本代表に選出、試合出場
- 2011年 7月 FIFA女子ワールドカップ2011ドイツ開幕。上尾野辺めぐみ選手、阪口夢穂選手がなでしこジャパン(日本女子代表)のメンバーに選出。史上初の優勝に大きく貢献する。
- 2012年 1月 アルビレックス新潟レディース 全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。
5月 黒崎久志監督退任。
6月 柳下正明監督就任。
- 2015年 7月 FIFA女子ワールドカップ2015カナダ開幕。上尾野辺めぐみ選手、北原佳奈選手がなでしこジャパン(日本女子代表)のメンバーに選出。
10月 Jリーグヤマザキナビスコカップ 初の決勝トーナメント進出を果たし、第3位となる。
12月 柳下正明監督退任。
アルビレックス新潟レディース 全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。
アルビレックス新潟レディース 能仲太司監督退任。
- 2016年 1月 吉田達磨監督就任。
アルビレックス新潟レディース 辛島啓珠監督就任。
9月 吉田達磨監督退任。
片淵浩一郎監督就任。
11月 片淵浩一郎監督退任。
- 2017年 12月 アルビレックス新潟レディース 全日本女子サッカー選手権大会で準優勝。
1月 三浦文丈監督就任。
5月 三浦文丈監督退任。
呂比須ワグナー監督就任。
11月 明治安田生命J1リーグ第32節でJ2降格が決まる。
アルビレックス新潟レディース 辛島啓珠監督退任。
12月 明治安田生命J1リーグ戦開幕。最終順位17位(7勝7分20敗)
呂比須ワグナー監督退任。

株主

- Hero Holdings (株)
- (株) トップカルチャー
- (株) テレビ新潟放送網
- 東北電力(株)
- (株) 新潟日報社
- (株) 本間組
- 新発田ガス(株)
- (株) 植木組
- 東邦産業(株)
- 新潟交通(株)
- (学) 新潟総合学院
- (学) 国際総合学園
- (株) アークベル
- 一正簿録(株)
- (株) 加賀田組
- 亀田製菓(株)
- (有) クロバーク企画
- (株) コロナ
- (株) ノジマ
- セコム上信越(株)
- 第一建設工業(株)
- 新潟冷蔵(株)
- 丸運建設(株)
- (株) 水倉組
- (株) リンコーコーポレーション
- (株) 第四銀行
- (株) 新潟総合テレビ
- 新潟トヨタ自動車(株)
- (株) 福田組
- (株) プルボン
- 新潟総合警備保障(株)
- (株) 新潟テレビ21
- (株) 新潟放送
- (株) 和田商會
- 藤木鉄工(株)
- 日本精機(株)
- (株) 吉原組
- TDKラムダ(株)
- ナミックス(株)
- 中野 孝太郎
- (株) 新潟藤田組
- 木山産業(株)
- 東光商事(株)
- (株) CSコーポレイション
- 北陸瓦斯(株)
- (株) エフエムラジオ新潟
- (株) 岩村組
- 藤田金属(株)
- 中越運送(株)
- (株) 大谷
- 金井度量衡(株)
- (株) ウオロクホールディングス
- (株) 皆川組
- (株) 大光銀行
- (株) 北越銀行
- (株) 北都
- 新潟照明技研(株)
- 環境をサポートする(株) きらめき
- 新潟県労働金庫
- 新潟県総合生活協同組合
- 藤橋 公一
- (株) 加島屋
- しなの産業(株)
- ニイガタクリーンサービス(株)
- 新潟ブレハブ工業(株)
- 新潟司商事(株)
- ハセガワ化成工業(株)
- (株) 小川
- (株) 不二工務店
- (株) 第一印刷所
- (株) 近藤組
- (株) バプリシテック
- (株) 吉田組
- (株) バイタルネット
- 環境整備(株)
- (株) 新潟ケンベイ
- 清水商事(株)
- (株) 電友舎
- (株) S.U建築設計
- (株) 鈴木コーヒー
- シナノ解体工業(株)
- 玉井 茂
- 中村石油(株)
- 白勢商事(株)
- 藤村ヒューム管(株)
- (株) 山下家具店
- (株) 若木印刷所
- 新潟通信機(株)
- (株) みのわ
- (株) 石井電光社
- (株) 北越農林
- 開発技建(株)
- 福田道路(株)
- (株) 興和
- 創伸建設(株)
- 北日本建材リース(株)
- (株) レックス
- 敦井産業(株)
- (株) 荻荘電機
- 北陸保全工業(株)
- (株) 樋熊商店
- (株) きくや
- 笹勇印刷(株)
- (株) 本岡釣具店
- (株) 吉運堂
- (株) クオリス
- (株) モリタ装芸
- 福田石材(株)
- 久住電気(株)
- (株) ナカムラ
- (株) 北村製作所
- 第一電設工業(株)
- (株) サイカワ
- 石本金属(株)
- (株) カヤバ
- 新潟空調(株)
- 片山高事(株)
- (株) 新潟ビルサービス
- (株) ビーズインターナショナル
- 堀川鮮魚(株)
- 日産プリンス新潟販売(株)
- 斎藤 俊治
- (株) 大原商店
- (株) 丸正産業
- (株) 北越ケーズ
- 源川医科器械(株)
- 北村食品(株)
- (有) 相川車輛整備工場
- (株) 丸新
- 北日本工芸(株)
- (株) 堀川
- (株) ホテルオークラ新潟
- FVイーストジャパン(株)
- 金清木材(株)
- (株) 粟山米菓
- 笹菊食品(株)
- アイビス技建(株)
- 日本サミコン(株)
- (株) 近藤組
- ケーターリングフード(株)
- セコムジャステック上信越(株)
- (株) 塚田牛乳
- 星野電気(株)
- ミズホ(株)
- 若杉 爾
- 小山 直久
- 五十嵐建設(株)
- 高橋 秀憲
- (株) マルタケ
- (株) 池田看板
- 越後天然ガス(株)
- 阿部 剛
- (株) 大沢組
- (株) マル吉大越組
- (株) ノガミ
- 若杉 透
- 山本 英明
- 蒲原瓦斯(株)
- マルタケ不動産(株)
- 北陸天然瓦斯興業(株)
- 北栄建設(株)
- 越後プロパン(株)
- (株) 越配

順不同

主な受賞歴

- 2003年 11月 新潟県知事表彰
- 2003年 12月 第53回日本スポーツ賞
- 2004年 4月 第12回スポニチ文化芸術大賞「優秀賞」
- 2005年 1月 平成16年度財界賞・経営者賞
- 2005年 3月 第15回ニュービジネス大賞 アントレプレナー大賞部門 最優秀賞
- 2005年 4月 第22回新潟県経済振興賞
- 2012年 11月 新潟県環境賞
- 2014年 6月 平成26年度「地域環境保全功労者表彰」(環境省)

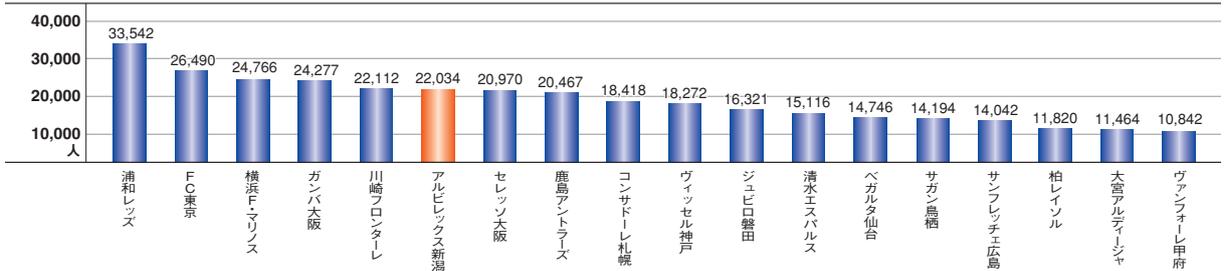
ホームゲーム入場者数は、J1リーグ平均約1.2倍以上となり、リーグ6番目となる374,585人の観客動員を達成。パブリシティ露出も多く、全国・地方メディアに多数取り上げられました。

ホームゲーム年間入場者記録

**1試合平均22,034人は
J1リーグ平均の約1.2倍！**

参考	2017年、単位：人
J1リーグ1チームあたりの年間平均入場者数(17試合)	321,009
J1リーグ1チームあたりの1試合平均入場者数	18,883
J2リーグ1チームあたりの年間平均入場者数(21試合)	146,360
J2リーグ1チームあたりの1試合平均入場者数	6,970

リーグ戦年間入場者記録(ホームゲーム、カップ戦含まず)						単位：人
順位	クラブ名	リーグ	年間入場者数	1試合平均	試合数	
2015年	1	浦和レッズ	J1	658,668	39,046	17
	2	FC東京	J1	489,336	28,149	17
	3	横浜F・マリノス	J1	411,759	24,221	17
	4	アルビレックス新潟	J1	372,908	21,936	17
2016年	1	浦和レッズ	J1	627,898	36,935	17
	2	ガンバ大阪	J1	430,806	25,342	17
	3	FC東京	J1	408,623	24,037	17
	4	横浜F・マリノス	J1	408,072	24,004	17
	5	川崎フロンターレ	J1	376,305	22,136	17
	6	アルビレックス新潟	J1	360,076	21,181	17
2017年	1	浦和レッズ	J1	570,215	33,542	17
	2	FC東京	J1	450,331	26,490	17
	3	横浜F・マリノス	J1	421,028	24,766	17
	4	ガンバ大阪	J1	412,710	24,277	17
	5	川崎フロンターレ	J1	375,910	22,112	17
	6	アルビレックス新潟	J1	374,585	22,034	17



パブリシティ露出

インターネット

- アルビレックス新潟公式サイト
- ※年間1,200万超ページビュー 月平均 約100万ページビュー

テレビ

- DAZNによる全試合中継
- アルビレックスタイムス(スカパー!)
- Jリーグタイム(NHKBS1)
- やべっちFC(テレビ朝日系)
- アルビレックスタイムスプラス(TeNY)
- とことんアルビ!!(TeNY)
- アルビSTADIUM(NST)

※その他、新潟地方テレビ、ラジオ局のニュース内番組、応援特集多数。ラジオ各局で応援番組あり。

モバイル

- アルビレックス新潟公式モバイルサイト
- ※年間3,000万超ページビュー 月平均 約250万ページビュー

マガジン

- 月刊サッカーマガジン(43万部)
- 隔週サッカーダイジェスト(43万部)
- 月刊新潟Week!(4万部)／新潟地方
- 月刊にいがた(4万部)／新潟地方

ニューズペーパー

- 新潟日報(45万部)／新潟地方
- スポーツニッポン(3.2万部)／新潟地方版

パブリッシング

- アシストプレスALBIREX(隔月/5,000部)
- ALBIREXオフィシャルハンドブック(4,200部)
- ALBIREXマッチデープログラム(各試合/2.6万部)

SNS

- クラブ公式Facebook ※31,275「イイネ!」(2017年10月現在)
- クラブ公式Google+ ※30,925フォロー(2017年10月現在)
- クラブ公式LINE ※37,047フォロー(2017年10月現在)

ホームゲームTV視聴率(ローカル放送)

2016年

日 程	2月27日	3月12日	3月19日	4月2日	4月10日	5月21日	6月11日	9月10日	10月29日	11月3日	平均
対戦相手	湘南(アウェイゲーム)	横浜FM	柏	福岡(アウェイゲーム)	磐田	川崎	大宮	名古屋	浦和	大阪	広島
キックオフ	15:00	15:00	14:00	14:00	16:00	19:00	14:00	19:00	14:00	14:00	13:30
中継局	BS-TBS	BS-TBS TeNY	NHK新潟	NHK新潟	NHKBS1(全国放送)	NHKBS1(全国放送)	UX	NHKBS1(全国放送)	NHK総合 NST	NHK新潟	NHK新潟
視聴率%	—	—	12.4	10.6	10.6	—	13.5	—	10.0	7.0	11.8%

2017年

日 程	2月25日	3月11日	4月1日	4月16日	4月30日	5月20日	5月28日	7月1日	9月23日	9月30日	11月18日	平均
対戦相手	広島(アウェイゲーム)	清水	G大阪	甲府(アウェイゲーム)	柏	札幌	仙台(アウェイゲーム)	磐田	札幌(アウェイゲーム)	神戸	甲府	
キックオフ	14:00	15:00	14:00	13:00	14:00	14:00	13:00	19:00	14:00	15:30	14:00	
中継局	NHK広島	NST	NHKBS1	NHK新潟	TeNY	NHK新潟	仙台放送	NHKBS1(全国放送)	NHK札幌	UX	NHK新潟	
視聴率%	—	14.4	—	8.0	8.7	12.4	—	—	—	7.2	13.4	10.6%